

令和6年3月29日
北海道開発局
網走開発建設部

渚滑川水系河川整備計画を変更しました

～近年の洪水や気候変動の影響、流域治水の観点を踏まえた治水対策を推進～

北海道開発局では、「渚滑川水系河川整備計画」の変更に向けて、河川法第16条の2の規定に基づき手続きを進めておりました。

今般、渚滑川河川整備計画検討会、関係住民及び北海道知事等のご意見を踏まえ、令和6年3月29日付けで「渚滑川水系河川整備計画」を変更しましたので、お知らせします。

整備計画変更のポイントは、以下のとおり。

- ① 近年の大規模洪水の発生、気候変動の影響に対応した河川整備
- ② 流域治水への転換を踏まえた治水対策（流域治水の取組推進）

詳細については、以下の網走開発建設部ホームページにて公開しております。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr0000002142.html>

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

河川計画課 河川調整推進官 田代 隆志（内線 5361）

計画第3係長 永木 剛史（内線 5968）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

治水課 課長 石郷岡 淳（0152-44-6445）

流域治水対策専門官 大島 省吾（0152-44-6452）

網走開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



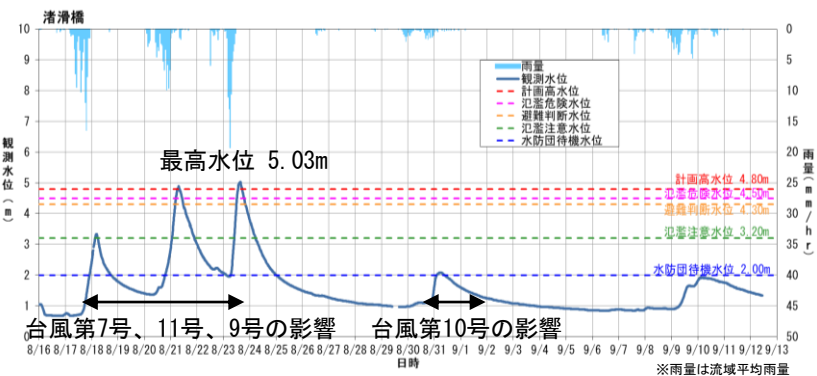
渚滑川水系河川整備計画〔変更〕概要【大臣管理区間】（変更の背景）

・平成22年5月に策定した渚滑川水系河川整備計画について、以下の点から見直しを行い、令和6年3月に変更しました。

① 近年の大規模洪水の発生、気候変動の影響に対応した河川整備

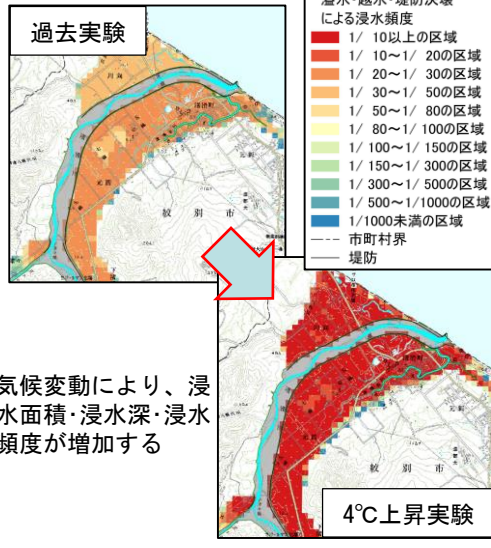
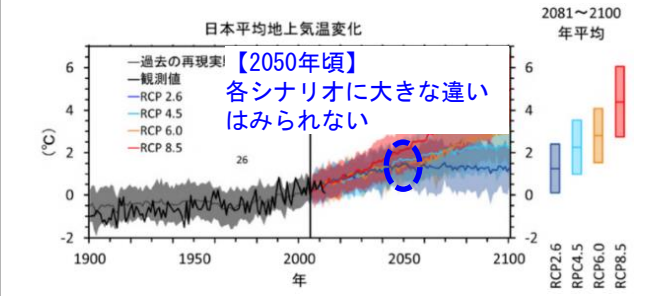
～計画高水位を上回る洪水の発生～

- ・平成28年8月洪水では、計画高水位を超過して氾濫が発生する可能性が高い状態となりました。
- ・渚滑川の増水に伴い、紋別市の一部に避難指示が発令されました。



～将来の気候変動に伴う 降雨量増大を考慮した河川整備計画の見直し～

- ・気候変動の影響により、2050年頃には各シナリオとも気温が2℃程度上昇することが予測されています。
- ・また、今世紀末には最も高い温室効果ガス濃度のシナリオ（RCP8.5）で4℃上昇が予測されています。
- ・北海道では2℃上昇時に降雨量が1.15倍になることが試算されています。



気候変動により、浸水面積・浸水深・浸水頻度が増加する

② 流域治水への転換を踏まえた治水対策 (流域治水の取組推進)

～ハード対策のみならず、ソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換～

- ・気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、「流域治水」への転換を推進し、洪水等による災害被害の軽減を図ります。

■被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

紋別市街地を守る河道掘削

荒廃森林 間伐後の森林

森林整備（浸水機能向上）

紋別市街地を内水被害から守る雨水管整備

■被害対象を減少させるための対策

- ・多段的な浸水リスク情報を充実させたまちづくり取組
- ・地域防災計画の見直し 等

水害リスクマップを用いた勉強会

■被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

防災ワークショップ実施状況（滝上町）

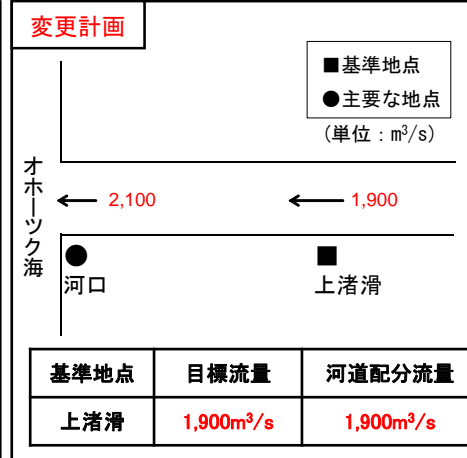
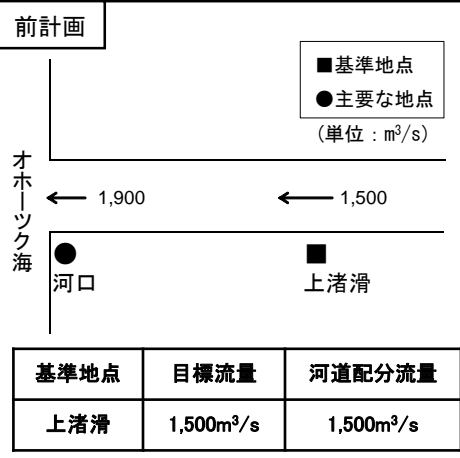
排水活動に対応した車両及び資機材の整備

渚滑川水系河川整備計画〔変更〕概要〔大臣管理区間〕（主な変更点）

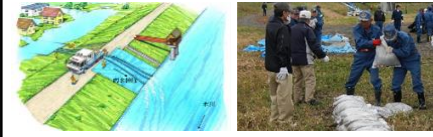
気候変動を踏まえた河川整備計画の目標流量

・気候変動後（2℃上昇時）の状況※においても平成22年（2010年）5月に策定した前河川整備計画での目標（戦後最大である平成10年（1998年）9月洪水規模）と同程度の治水安全度を確保できる流量を安全に流下させることを目標とし、上渚滑基準地点における目標流量を1,500m³/s→1,900m³/sに変更しました。

※気候予測アンサンブルデータを用いて流量を算出。



危機管理体制の構築・強化



内水排除のイメージ図 水防訓練

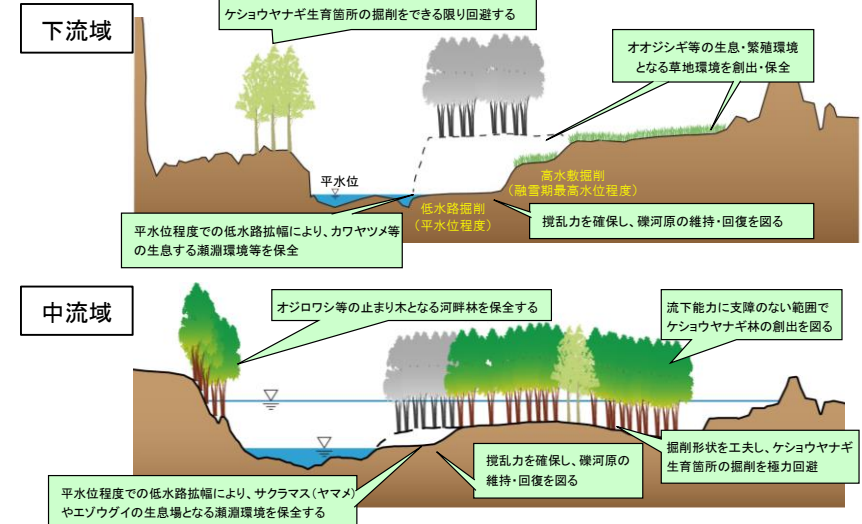
・計画規模を上回る洪水や整備途上段階での施設能力を上回る洪水対策として、内水被害軽減など関係機関と連携して整備します。

・また、水害リスクマップ等を活用して水害リスクを考慮した地域づくりをあらゆる関係者と連携して推進します。

河川環境の整備と保全・創出

<河川環境の整備と保全・創出>

・河道掘削に当たっては、ケシウヤナギ等の生育・生息環境となる礫河原の保全・創出を図ります。



河道掘削のイメージ図

<河川景観の保全・創出>

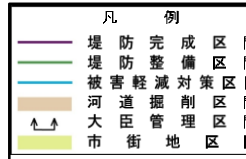
・渚滑川と地域の代表的な景観である牧草地帯と一体となった河川景観や冬季に赤く色づくケシウヤナギと雪景色に彩りを添える河川景観など渚滑川らしい河川景観の保全・創出を図ります。



洪水を安全に流下させる対策

河川名	施工の場所（河道掘削）
渚滑川	KP0.00～KP8.40
	KP12.80～18.00
	KP18.60～19.70

事業期間	令和6年～令和35年
事業内容	河道掘削、堤防整備 等



注1)実施にあたっては、今後の測量結果等により、新たに工事が必要となる場合や内容が変更となる場合がある。